

自己評価					学校関係者評価	
学校運営計画 (4月)				評価 (総合)		
学校運営方針		(1) 校訓「誠・敬・愛」 誠実で、礼儀正しく、自他を尊重する (2) 生徒のやる気を応援し、個性を伸ばす西田川高校!			<b>A</b>	
昨年度の成果と課題		令和 4 年度重点目標				
[成果] 今までの活性化・特色化への取組により地域に信頼され愛される学校として再評価され、校内に活気が満ちている。 [課題] (1) 定時制課程単位制と一体化した学校運営と全日制課程最後の卒業生として誇りを持たせること。 (2) 全日制課程のメリットを生かすとともにその価値を追求し、西田川高校の文化の継承を図ること。 (3) 閉課程式を見据え、西田川の職員 (全日・定時) としての連携を維持・強化しチーム化を図る。 (4) 地域社会に信頼される学校づくり	(1) 積極的な授業改善で確かな学力の伸長	具体的目標 ・一人年 1 回の授業公開 (主体的な学び: 導入、見通し、振り返りの工夫) ・公務員・看護系教育課程の充実 (公看系進路決定者 20%) カリキュラム・マネジメント ・欠席・遅刻・早退者の減少 (前年比 10% 減少)				
	(2) 未来に活躍できる生徒の育成	・全職員によるあいさつ運動の実施 (年 4 回) ・生徒会活動の活性化と部活動の推奨 ・校内環境整備の充実 ・生徒の意見を取り入れた学校行事などの企画 (学校満足度 90%)				
	(3) 生徒の資質・能力を活かした進路実現	・進路達成への指導体制の強化 (課外、面接指導等) → 進路決定率 100% ・福岡県立大をはじめとした高大接続改革の推進 ・成年年齢の引き下げを踏まえた、持続可能な社会の担い手となる教育の充実				
	(4) 地域社会に開かれた学校づくり	・広報活動の推進 (インスタグラム、学校ホームページの充実) ・PTA、同窓会、後藤寺商店街との連携強化 (合同会議の開催)				
	(5) 自他が認められ、一人ひとりの居場所が尊重される学校づくり	・ことばの環境を向上させるためのプロジェクト実施 ・人権学習の見直し (全体計画・年間計画・内容) ・人権・同和教育推進委員会の充実 (生徒の情報交換と具体的方策等)				
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価 (3月)		次年度の主な課題	
教務部	・確かな学力の育成	チャイム席を守らせ、チャイムと共に授業を開始できるようにする 基礎基本となる内容を確実に出題し、考査に対するモチベーションを高める 期ごとに追考査・追試を行い、基礎基本の徹底を図る	A A A	A	・今後も、生徒に確かな学力を身につけさせるため、各教員が授業改善を図ることのできる環境を整えていく必要がある。 ・今後も、生徒の基本的な生活習慣確立を目標とした指導を、家庭・地域と連携して行う必要がある。	
	・欠席・遅刻・早退の減少	進路指導とからめ、安易な欠席・遅刻・早退をさせないようにする 欠課時数把握表を活用し、欠席・遅刻・早退の防止に努める 「欠席・遅刻・早退ゼロの日」の実現をめざす指導を行う	A A A			
	・教職員の授業改善	「タブレットの授業活用」をテーマとした研修会の開催 (1回以上) 研究授業等の機会を利用し、授業改善を行う。	A A			
生徒部	・挨拶の徹底と場に応じた言葉遣いを身に着けさせる	授業や学校生活で言葉使いを大切にする。 指導無視や暴言は許さない指導を行う。 教員側から積極的な挨拶を心掛ける。	B A A	A	・引き続き生徒、職員の健康安全のための感染対策や職場環境を整えていく必要がある。また、スクールカウンセリングや教育相談等の他の機関と連携し、特別な配慮が必要な生徒への支援を行っていく必要がある。 ・学校全体で共通理解、情報共有を行い、生徒指導を行っていく。	
	・安心安全な学校作りに努める。	定期的に学校生活アンケートなどに取り組む。 担任面談・スクールカウンセリングを行う。 授業を大切にする。	A A A			
	・心身の健康の保持増進のための適切な健康管理と保健指導を実施する。	「自らの健康は自ら守る」保健指導・保健室経営を行う。 特別な配慮が必要な生徒へ適切な支援を行う。 各種教育相談の充実を図る。	A A A			
	・快適で安全な学校生活のための校内の環境美化活動、感染症対策に努める。	定時制課程との協力・連携による清掃活動を実施する。 ゴミの分別を徹底する。 授業や学校行事・特別活動等における適切な感染症対策を推進する。	A A A			
進路部	・生徒の志望や適性に応じた進路達成と自己実現をめざし、系統別指導体制の強化を図りより効果的で充実した進路指導を行う。	希望調査や面談を通して生徒の進路希望を計画的に集約し共有する。 進路体験活動を創意工夫し、充実させ、職業観・勤労観を育成する。 情報・データを分析・提供することで、教員の進路指導力を高める。	A A B	A	・個に応じた指導を強化し、学習意欲、進路意欲を向上させ、早期に進路希望を決定し、進路目標達成に向けて生徒自ら積極的に取り組む活動の充実を図る。また、小論文や面接の指導及び入試対策など受験指導の早期開始や充実を図り、様々な進路希望に対応する。 ・生徒の状況や進路希望等をこまめに把握、共有し連携、協力のもと、一丸となった指導、支援の充実を図り、自立できる力を組織的に身につけさせる。	
	・地域の病院・大学・専門学校等関係機関との連携を図り、意識を高め、地域活性化に寄与し、地域との絆を大切にする生徒を育成する	職員研修等により、大学入学者選抜改革等各改革への対応を推進する。 地域の病院・大学・専門学校との連携を通じた進路指導の運営を行う。	A A			
		各種支援事業を活用した指導を企画・推進し、生徒の進路実現を図る。	A			
						A
項目ごとの評価	学校関係者評価委員会から意見					
<b>A</b>	○ICT機器を効果的に活用しつつ、生徒一人ひとりが主体的に学習できる環境づくり等、継続して欲しい。 ○単位制との併置という環境でも楽しく学校生活を送っていた。					
<b>A</b>	○礼儀、言葉遣い、挨拶を生徒が身に付けるためには教職員も含めた学校全体の環境も大切になると考える。学校生活の中でも社会の一員になる準備をしていると考えることができるような関わりを引き継いで欲しい。 ○近隣清掃など、目に見える活動に全員取り組んでいた。					
<b>A</b>	○生徒一人ひとりに応じた支援を丁寧に行われている。国公立の合格者もおり、今後に期待できる。先輩や卒業生との交流の機会を検討しても良い。 ○最終年度の生徒を送り出すにあたり、希望する進路へ導いていた。					

企画広報部	・学校行事をはじめ、学校刊行物等、校務運営の円滑化に寄与する。	関係分掌と連携して、学校行事の円滑化を図る。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全日制・単位制のホームページを一本化する。</li> <li>・デザインや項目も刷新し、本校の魅力を広く発信できる、本校の情報を欲している人に必要な情報を届けることのできるホームページにする。</li> <li>・PTAの活動内容を整理し、新たな体制づくりをする。</li> </ul>	A
		学校発刊物の作成をする。（「学校要覧」「Endeavour」）	A			
		交誼会の充実、職場環境の整備を行う。	A			
	パンフレットやSNSを活用した効果的な広報を行う。	計画的な刊行物の発行を行う。	A	B		
		広報物の効果的な活用を計画・実施する。	B			
		インスタグラムやホームページの効果的な活用と更新を図る。	B			
	・PTAや同窓会と連携し、教育活動の充実を図る。	PTA運営委員会、各種専門委員会等を実施し、PTA活動の充実を図る。	B	A		
		同窓会とのつながりを深め、教育活動の充実に努める。	A			
		田川地区福祉事業の企画・運営を行う。	A			
人権・同和教育推進／図書研修部	・人権が尊重される学校・学級づくりの推進	相手を尊重したコミュニケーションを、全職員・全生徒で実践し、良好な人間関係の基礎を築く。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、全日制は閉課程となるが、これまでの取り組みを定時制単位制に引継ぎ、人権が尊重された学校に向けて全職員、全生徒で取り組みを行っていく。</li> <li>・生徒主体の活動が行えるような体制を整える。</li> </ul>	A
		授業や学校行事、部活動等の生徒作品展示等を通して、生徒一人ひとりの個性を尊重し、相互に認め合う集団づくりに取り組む。	A			
		生活人権委員会の活動を活用し、生徒が人権について考え、発信できる場を設定する。	B			
	・人権・同和教育推進体制の充実	人権教育全体計画を作成し全教科・全領域で人権教育が実施できる体制を作る。	A	A		
		人権・同和教育推進委員会を定期的に開催し、生徒情報の共有化を図り、生徒の修学（就学）を全職員で支援する体制を作る。	A			
		適時、校内職員研修会の実施し、校外研修への参加を促すことで本校職員の知的理解を深め、人権感覚を磨く体制をつくる。	A			
	・新しい学習観に基づいた力を育むための授業改善の推進	公開授業・研究授業等の機会を利用し、授業改善に向けた取り組みを行う。	A	A		
		学習指導要領や想定される教育システムの変化に対応する授業実践について情報を共有する。	A			
		研究協議会の在り方を見直す。	B			
	・校内職員研修会の企画・運営及び各種研修会への積極的参加の促進	各部との連携を図り、本校の教育課題に応じた内容を盛り込む。	A	A		
		各種校外研修への積極的な参加を促進する。	A			
		充実した研修会を企画できるよう、研修後のアンケート実施、職員への還元を行う。	B			
第3学年	・希望進路の実現	進路講座やガイダンスを活用し、進路意識を確定させる。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作文指導やガイダンス等を通し、早くより継続して意識付けを行ってきたため、生徒が自ら進路を決定し実現に向けて真剣に取り組むことができた。</li> <li>・卒業と卒業のその先に向け、早めに準備をさせることが課題である。</li> </ul>	A
		個人面談を密にし、生徒一人一人に適した進路指導を行う。	A			
		各種検定や課外の受講を励行し、基礎的・基本的な学力を定着させる。	A			
	・より柔軟により強く生きる人物の育成	場に応じた言葉遣いの使い分けができるよう根気強く指導する。	B	B		
		他者を思いやる気持ちを持たせ、言葉が持つ影響力に気付かせる。	A			
		授業をとおして敬語の知識を深めさせる。	B			

A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○SNS等積極的に活用した広報を実施している。</li> <li>○マスコミにも取り上げられ、ホームページでも行事等の紹介はあり大変評価が高い。</li> <li>○PTAの活動活性化は課題である。</li> </ul>
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の課題について生徒が一緒に考え取り組んでいくことができるような学びの機会もあり、地域社会への貢献としても大変よく取り組んでいる。</li> <li>○西田川のスクールカラーは単位制へ引き継がれていると感じられる。</li> </ul>
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内の環境も整い、学習しやすく、コロナ禍によるリモートワークにも十分対応している。</li> </ul>
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○場に応じた言葉遣いや適切な敬語を使えた時等、すぐその場でできたことを具体的にほめる等生徒が自分の強みを考える機会をできるだけ早期に検討しても良い。</li> <li>○進路ニュースは公開しても恥ずかしくない内容だと感じる。</li> <li>進路指導の賜物である。</li> </ul>

### 自己評価及び学校関係者評価の評価を踏まえた今後の改善策

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の運営や生徒会、PTA活動等、行事の在り方や活動を単位制に引き継ぐ。</li> <li>・きめ細やかな進路指導（生徒面談、大学等のオープンキャンパスへの参加、企業見学、応募前職場見学等）の効果的な継承。</li> <li>・人権が尊重される学校・学校づくりの推進及び人権・同和教育推進体制の継承（自他の尊重、効果的な人権学習、人権・同和教育推進委員会の定期的開催及び校内研修会等の実施等）</li> <li>・校内職員研修会の企画・運営及び各種研修会への積極的参加の促進</li> <li>・SC、SSW等外部専門家との組織的な連携及び柔軟な実施の工夫の継承</li> </ul>
--

<p>評価項目以外のものに関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全日制の生徒が全員卒業でき、閉課程式を迎えることはとても嬉しいことです。先生方の努力に感謝でいっぱいです。</li> </ul>
---